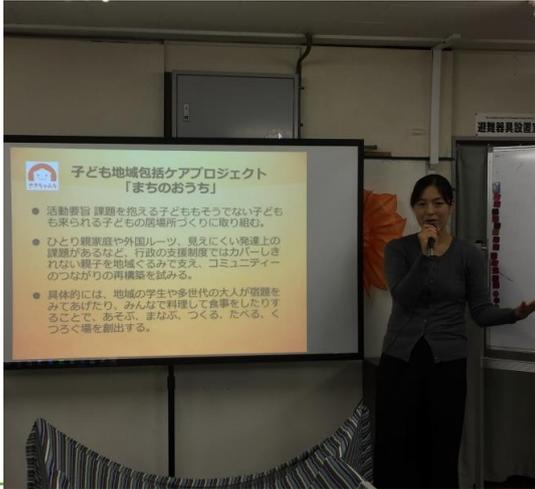
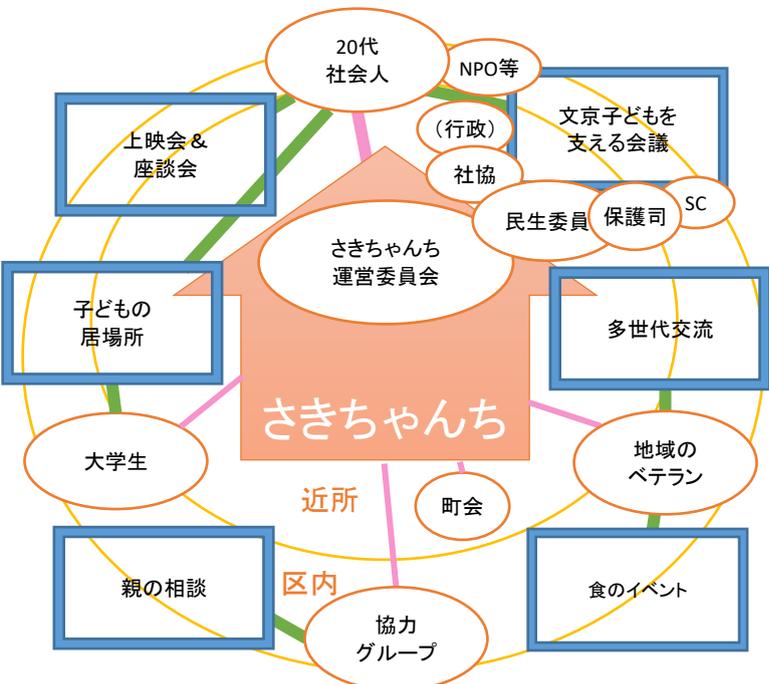


活動名	子ども地域包括ケアプロジェクト「まちのおうち」	団体名称	さきちゃんち運営委員会
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動目的	④子どもの居場所づくり
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
課題を抱える子どもも、そうでない子どもも来られる子どもの居場所づくり →地域の学生や大人が多世代で様々な立場からかかわることにより、あそびの場、まなびの場、つくる場、たべる場、くつろぐ場をつくりだす。 ちょっと宿題をみてあげたり、みんなで料理して食事をしたり、みんなで何かをつくったり、日常的な場と多世代が交流する機会を定期的につけていく。		2017.9~ 協力者募集 2017.11~ 子どもや親などを中心とした対象者向けイベントや場づくり	・町会・民生委員・大学生などへ呼びかけ(挨拶、連絡) ・子ども支援についての座談会・ワークショップ (上映会後の座談会、文京子どもを支える会議及び打ち合わせ) ・外国人や障がいのある子の親がつどうWSや対応スタッフ配置 ・放課後や年末年始の居場所(孤食回避、学びの場)を提供 ・水引制作、恵方巻き等、季節の行事で多世代交流の場を提供 ・味噌づくりWSでみんなで料理してみんなで食べる機会の提供
■活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな子どもでも来やすい「第二のおうち」のような居心地のよい場を増やす ・継続的にかかわる地域の大人(支援者)を増やし、輪を広げていく →地域ぐるみで子どもたちを支える取り組みを通じ、コミュニティーのつながりの再構築を試みる。 		
■長期成果	地域ぐるみの子ども支援体制、子どもを見守る地域ネットワークを構築することにより、子ども自身が生きやすさを感じられるまちづくり。地域の大人も、「よその子」ではなく、「わがまちの子」という意識を持ち、大人同士の連携も高まることが期待される。		
■活動風景	  		
<p><まちの映画館@さきちゃんち>10/21 座談会で発達障がいや子どもの支援について語る</p>		<p><恵方巻き巻きの会>2/3 地域のベテランに学びながら、季節行事をみんなで楽しむ</p>	
<p><文京子どもを支える会議 ネットワークづくり>2/25 子ども支援の官民のメンバーが一堂に会して課題を共有</p>			
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>(上期の成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町会や、大学のゼミとつながり活動の協力や援助をいただけるようになった。 ・上映会に参加した子どもの支援に関心の高い20代の社会人の方々の協力を得、子育て世代でカバーしづらかった、年末年始の子どもの居場所づくりが実現できた。 ・文京子どもを支える会議では、文京区内で官民様々な立場で子どもの支援に関わっている22名が一堂に会し、活動にあたって課題と感じていること、これからできそうと感じることを共有した。声掛け段階も含め新たなネットワークが築けた。アンケートでは、この会議を紹介したい割合が10段階中8.5であった。 ・子連れで参加できる保護者向けストレスマネジメントのワークショップ(WS)の開催や外国語にも対応ができるスタッフを定期的に配置できるようになった。 ・季節行事のWSは、地域のベテランから技を教わり、多世代の交流の場となった。 ・地域の親子が参加し、一緒に学びながら作ったり食べたりする機会ができた。 <p>(下半期に向けた改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人や障がいのある子どもの保護者に情報が届いていない。 →発信方法や来てみたくなるための工夫が必要。 ・上映会後の座談会については、普段つながりにくい層の方と語り合える場とした。 →広報を早めに行い、広い層に届くようにしたい。 ・文京子どもを支える会議も継続希望の声に応えていきたい。 →一歩ずつ何かが実現したと実感できる会議、つながっていく会議にしたい。 			
〒112-0002 (住所)東京都文京区小石川3-36-14 2階 (団体名)さきちゃんち運営委員会 (ホームページ): http://sakichanchi.org/		助成金額 346,000円	
		助成期間 H29.9.1~H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。